

再発見!

交野

めぐり

工業編

第8回



交野市工業会の協力で、地域のものづくりや製造業など、さまざまな業種の発展に貢献されている市内の企業を巡り、隔月で紹介しています。
今回は、「新関西製鐵株式会社」です。星田工場では、本社のある堺工場で製鋼された鑄片(四角柱状の鉄の塊)を圧延し、多彩な製品を生産しています。

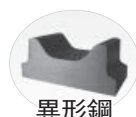
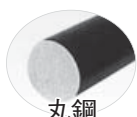
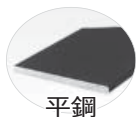
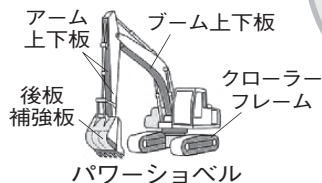
新関西製鐵株式会社 (星田工場)

所在地	星田北4丁目26-1 (TEL 891・0621)
設立	2001年(関西製鋼株と臨港製鐵株が合併)
代表者	代表取締役 田邊寛隆
従業員数	173人
事業内容	普通鋼、特殊鋼の製造・条鋼圧延

何を作っているの?

あなたの身近な鋼材を作っています!

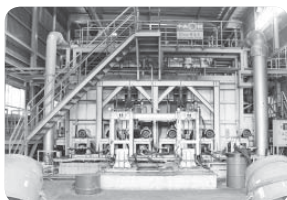
- ▷製品となった高強度で耐久性のある鋼材は、パワーショベルなどの土木・建設機械や、建築用、船舶用の部材として使われています。
- ▷平鋼・丸鋼などの他に、建設機械のフレーム材やI-BARなどの異形鋼を14品種・500サイズ生産しています。



問い合わせ 情報課
(TEL 892・0121)

製品ができるまで

①加熱



決められた成分に調整された鑄片(鉄の塊)を1100℃まで加熱します。

②圧延



100mある圧延ラインで、1100℃の鑄片に上下のロールで圧力をかけて、製品に必要な厚さまで延ばします。

③冷却・品質検査



冷却後、製品を4~12mに切断し、品質検査などを行い、出荷されます。



※動画の口を覗いてみましょう!



圧延グループリーダー 林政徳さん

工場長 向博司さん

当社製品の主原料は、ビルや橋、自動車などを解体した鉄スクラップです。電気炉で溶かし、決められた成分に調整してから、さまざまな形状の新たな鉄鋼製品を生み出しています。

少資源国である日本で、数少ない資源の一つである鉄スクラップを有効活用し、リサイクル社会の構築に大きく貢献しています。

💡 あなたの家の前にも?!



互い違いに突起があるよ!

I-BAR、と呼ばれる鋼材は、格子状に組んだ溝蓋に使われています。

新関西製鐵株で作られた部材には、滑り止めのため、平行四辺形型の突起が互い違いにあるので、見付けてみてください。